

Talk

GEO CAFE

伊豆修験

# 伊豆峯辺路

走湯山

年末は伊豆まで修行に行っちゃいます！

## マカクル



11 2024  
sat.  
15:00  
17:00

会場 **起雲閣** 定員**100名** 参加費 **500円** (お茶とお菓子付)  
熱海市昭和町4-2

### 第一部 対談 考古学と地質学の視点からひもとく伊豆峯辺路



**深澤太郎** (國學院大學教授)  
考古学・宗教考古学の専門家、こと伊豆修験の研究における第一人者。博識さと嘶家のような軽快な語り口、大学の先生にしてはファンキーな外観を併せ持つ。

お話が難しくなってきたら通訳します



**辻修次**  
(伊豆半島ジオパークの文化系研究員)  
おなかに沢山の引き出しを持っている。



**遠藤大介** (伊豆半島ジオパーク研究員)  
ジオパークの礎となる地質系の専門家。平和的な人柄で、もっぱら石ばかりを愛していると周囲からは思われているが、実はほかの分野への好奇心や楽しむ心を人一倍もっている。

### 第二部 「いにしへの伊豆峯辺路を歩く」パネルディスカッション

いにしへの伊豆峯辺路をトレイルとしてよみがえらせようとしている現代の山伏たち。このたび書籍「伊豆半島ジオパークトレッキングガイド いにしへの伊豆峯辺路を歩く」出版にあたり、実際にいにしへの辺路をたどりながら見た風景やエピソードをご紹介します。



**船本祐司** 執筆者 IZAIU  
都内で企画制作の会社を経営。2018年より伊豆半島と行き来をはじめ、2021年より伊豆半島に地域の課題解決をする法人「IZAIU」を設立。ひよんなことから伊豆修験を知り踏査を開始、2022年11月その研究・調査の成果を発表。2024年3月より「伊豆修験」をテーマに各方面へ向けてアレンジ、自然・歴史・文化・温泉・体験等、すでにある多様な伊豆半島の資源を再編集したテーマ型観光と地域DNAの周知活動を推進している。



**田邊詩野** 執筆者 子鹿社代表  
海外旅行誌などを制作する編集プロダクションを経て、静岡県のローカル新聞社へ。伊豆半島愛が強く、ジオパークのトレッキングガイドなど伊豆に関する書籍を手がけてきた。独立後伊東市にて子鹿社を立ち上げる。独立後は自社本の編集・制作をしながら、他社の書籍の構成ライティング、リトルプレスや地元紙への寄稿などの文筆活動も行う。学生時代にイギリス留学、東西ヨーロッパ、中東圏、アジア圏をバックパッカーで単独旅行した経験あり。



**清水玲** 写真撮影 アーティスト  
伊豆半島や四国を中心に地形の成り立ちや信仰のかたちの変遷を探る踏査、撮影を継続的に行いながら、多様な表現形態を用いたプロジェクトや作品制作に取り組んでいる。現在、伊豆大川にて個展「波の始まりとアポフェニア(第二部 験を修める)」が開催中(-12/ 8)。「富士の山ピエンナーレ2024」(11/23-12/8・富士市)に出展予定。アーツカウンシル静岡の主催事業「fresh air 2024」にて、三島市でのワークショップと展示(-2025年2月)を予定。

伊豆半島が、かつて修験の現場だったって、聞いたことありませんか？ 四国八十八箇所は今でもみんなに人気の巡礼路ですが、じつは伊豆半島も、かつて本格的な修験をした人たちが集まってくる修行の場だったのです。  
伊豆半島の巡礼路は「伊豆峯辺路(いずみねへじ)」と呼ばれ、修験者たちは年末にここ、熱海から出発し、伊豆半島をぐるり一周してまた新年に熱海へ戻ってくるという行を行いました。  
今回は考古学×地質学の専門的視点から伊豆峯辺路をひもとくとともに、実際にかつての山伏たちが踏み固めた道をふたたびトレイルとしてよみがえらせる取り組みを行っている顔ぶれを迎えて、伊豆峯辺路の魅力に浸ります。

「伊豆半島ジオパークトレッキングガイド いにしへの伊豆峯辺路を歩く」が11月19日に静岡新聞社より発売されます。当日は書籍を特別先行販売します。

共催 (一社)美しい伊豆創造センター×IZAIU

お問合せ (一社)美しい伊豆創造センター

後援 熱海市 静岡新聞社

☎ 0558-72-0520

お申込みフォーム

